

開校百五十周年に寄せて

八王子市長 石森 孝志



八王子市立由井第一小学校が、このたび開校百五十周年を迎えられますことを心からお慶び申しあげます。本校は明治六年に天満社境内に北野学舎として設立し、昭和二十一年に現在の名称となりました。本校のシンボルである

「赤レンガ門」は大正四年に正門として建てられ、校舎はその後数回移転をしましたが、そのたびレンガ門もそのまま移され、八十年以上にわたって地域の方々に親しまれてきました。

本校は地域の方々と共に子どもたちを育む取組が積極的に進められています。なかでも朝に実施される子ども教室は、地域のボランティアの方々の方力のもと、開門時間より早く校庭を開放し、子ども達を遊ばせる取組で、朝の時間帯の子ども達の居場所の確保につながっています。また、何も食べずに登校する子のために、近隣の子どもの食堂のご協力により、子ども達に朝ご飯を提供していただいております。子どもたちは朝食をしっかりと食べ、朝の子ども教室で元気に遊び、気持ちよく一時間目の授業に取り組むことができます。こうした取組は、まさに本市が誇る「市民力」、「地域力」を活かした八王子ならではの教育であり、将来、子どもたちが社会に大きく羽ばたく礎となるものと確信しております。本市といたしましては、今後も子どもたちが、ふるさと八王子を愛し、いつまでも住み続けたいと思ってもらえるよう、全力で市政運営に努めてまいります。

結びに、由井第一小学校が、開校百五十周年を契機に、さらなる飛躍を遂げられますことを心から祈念申しあげ、お祝いのことばといたします。

開校百五十周年を祝して

八王子市教育委員会 教育長 安間 英潮



八王子市立由井第一小学校開校百五十周年誠におめでとうございます。心よりお祝い申しあげます。また、開校以来、本校の教育活動に限りない情熱を注がれ、学校の発展にご尽力されました歴代の校長先生をはじめとする教職員、並びに保護者・地域の皆様に深く敬意を表すとともに、心から感謝申しあげます。

本校は、「あたたく」、「かしこく」、「たくましく」を教育目標とし、さまざまな教育活動に取り組んでいます。本校は小学校を卒業する十二歳をゴールとはせず、義務教育を修了する十五歳の春をゴールとして想い描き、義務教育九年間の小中一貫教育を中学校と連携し推進する取組に力を入れています。本校の児童が中学校の合唱祭に観客として参加し、中学生の合唱を鑑賞させていただいたり、中学校の部活動に体験入部させていただくなど、進学前に中学校の文化に触れることで、進学後の新たな生活への不安や戸惑いを緩和することができています。また、打越中学校区の三つの学校の児童生徒による「打越中学校区サミット」を実施し、いじめ対策などの課題について話し合い、九年間を見通したより良い学校生活を考える力も培っています。

これらの教育活動は、本校のさらなる発展の礎となるとともに、未来を担う子どもたちの「生きる力」の育成につながるものであり、今後も一層の充実が図られることを期待いたします。

結びに、由井第一小学校が開校百五十周年という記念すべき節目を契機に、今後益々発展されますことを心から祈念し、お祝いの言葉といたします。